



1月1日現在在籍数 320名

## 気仙沼市立松岩小学校

■ 本校の教育目標 ■

志を持ち、  
かしこく、やさしく、たくましく  
生きる児童の育成

令和5年度 学校だより NO. 9

令和6年1月9日 (火) 発行

あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いたします。

気仙沼市立松岩小学校 校長 佐々木 裕作

改めまして、あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いたします。

15日間にわたる冬休みを終え、今日から二学期後半の学校生活が始まりました。昨年、12月には、インフルエンザによる学級閉鎖が続き、保護者の皆様には大分、御心配をお掛けしましたが、年が明けてからは、インフルエンザによる欠席者はそんなに多くはなく、ほっとしているところです。冬休み中の感染症対策への御協力、大変ありがとうございました。なお、学級閉鎖があった学級につきましては、現在のところ、1日の授業時数を増やして指導を行うことは予定しておりませんが、現学年で学ばなければならない学習内容は確実に指導し、未履修となることのないよう担任に指示しておりますので、その点につきましては、御安心ください。今後、更なる感染拡大のため、二度目の学級閉鎖となる学年が出てきた場合には、1日の授業時数を増やすこともあるかもしれません。その際は、改めて御連絡いたします。

さて、今年度の学校生活も、残すところ50日あまりとなりました。2学期の後半3か月は、一年のうちで一番授業日数の少ない時期ではありますが、現学年のまとめを行うとともに、進級・進学に向けての心構えや準備を進めなければならないとても大切な時期です。特に、6年生の子供たちにとっては小学校生活の締めくくりの時期でもありますので、学習面でも生活面でも、一人一人がすべきことをしっかりと行い、友達と協力して活動し、充実した3か月となるよう、全職員でバックアップしていきます。

冬休み前の全校集会で子供たちには伝えたのですが、10月に2学期が始まり、様々な行事が行われた中で、私が一番うれしかった行事が何かと言いますと、それは、「わかば祭」でした。5・6年生の子供たちが、1〜4年生の子供たちに喜んでもらおうと、本当に一生懸命頑張っていました。自分たちで材料を持ち寄り、どうやれば楽しく遊べるかを考え、工夫していました。わかば祭当日は、優しく声を掛けながら遊び方を説明していました。そんな5・6年生の様子を見ていて、とても頼もしく思えましたし、そういう頑張る姿が、下学年のよいお手本になるのだと思いました。実際、4年生の子供の中には、来年、5年生になった時のことに思いを馳せていた子がいたということも聞きました。子供たちが、子供たち同士の活動の中で成長していくというのは、とても大切な機会であり、松岩小学校の子供たちのよいところがこうして引き継がれてきたのだと思います。来年度の5時間授業の実施に向けて、行事の精選等を行っているところですが、この行事だけは続けていきたいと強く思いました。

話は変わりますが、今年の干支は「甲辰（きのえ たつ）」です。甲辰の年は、「あまねく光に照らされ、急速な成長と変化が起きる年」となると言われており、「これまで努力してきたことが多くの人に認められる年」「自分でも気付かなかった意外な才能が一気に開花したりする年」となると言われているそうです。子供たちが努力していればその努力を認め、褒め、励ますとともに、子供たちのよさや可能性を引き出す一年となるよう、職員一丸となって子供たちの指導に当たってまいりますので、今後ともよろしく願いたします。

